

様式4 〔基本計画標準様式〕

○基本計画の名称：高松市中心市街地活性化基本計画

○作成主体：香川県高松市

○計画期間：令和7（2025）年4月から令和12（2030）年3月まで（5年）

1. 中心市街地の活性化に関する基本的な方針

〔1〕これまでの中心市街地活性化に関する取組の検証

（1）旧基本計画（第3期計画）の概要

第3期高松市中心市街地活性化基本計画（以下「第3期計画」という。）の概要は、以下のとおりです。

【計画期間】令和元年7月～令和7年3月（5年9ヵ月）

【区域面積】250ha

【コンセプト】来まい・住まい・楽しみまいーコンパクト・エコシティ たかまつー

【活性化の目標】 **目標1** サンポートエリアにおける高次（広域）都市サービス機能の充実による誘客力の向上

目標2 中心市街地の魅力発信による回遊性の向上

目標3 拠点間交流と住環境の整備による地域価値の向上

【数値指標】

基本的な方針	目標	数値指標	現状値	目標値
みんなが訪れ たくなる 中心市街地	サンポートエリアにおける高次（広域）都市サービス機能の充実による誘客力の向上	中心市街地内の主要 観光施設 年間入込客数	2,022 千人 (R5)	2,890 千人 (R6)
みんなが巡っ てみたくなる 中心市街地	中心市街地の魅力発信 による回遊性の向上	歩行者等通行量	122,935 人 (R5)	97,721 人 (R6)
		新規出店数	186 店舗 (R1.7～ R5.12)	271 店舗 (R1.7～ R7.3)
みんなが豊か な人生を実現 できる 中心市街地	拠点間交流と住環境の 整備による地域価値の 向上	中心市街地の社会動 態	848 人 (R1.7～R6.4)	1,373 人 (R1.7～ R7.3)
		ことடன்3駅の 乗降客	30,401 人 (R5)	32,057 人 (R6)

(2) 旧基本計画（第3期計画）の事業の進捗状況

令和元年7月に策定された第3期計画で位置づけられた事業及び現時点（R5年度末）における進捗状況等を以下に整理します。

■市街地の整備改善（第4章）

事業名	事業内容	状況
玉藻公園整備事業	史跡高松城跡と一体となる都市公園の整備	実施中 (未完了)
高松港港湾環境整備事業（玉藻地区）	緑地設計一式、緑地整備工一式	実施中 (未完了)
高松城跡整備事業	史跡高松城跡保存活用基本計画による石垣や披雲閣など各施設の保存修理、桜御門の復元整備、披雲閣耐震補強、大手前地区整備、天守再現基礎調査	実施中 (未完了)
高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業	第一種市街地再開発事業 延床面積：18,585㎡（7,027㎡、11,558㎡） 階数：11階、8階、3階 用途：住宅、医療、公益、商業、駐車場	完了
高松海岸線街路事業	高松海岸線の整備、幅員30～32m（6車線）、整備延長646m 自転車歩行者道整備、段差解消、電線類地中化	実施中 (未完了)
新県立体育館整備事業	・メインアリーナ、サブアリーナ、武道施設兼多目的ルーム、その他諸室等 ・延床面積：30,000㎡程度	実施中 (R6年度未完了)
バリアフリー歩行空間ネットワーク整備事業	・瓦町松島線：施行延長L=120m（歩道段差・傾斜の改善、透水性舗装、視覚障害者用誘導ブロックの設置） ・高松海岸線：施行延長L=100m（歩道段差・傾斜の改善、透水性舗装、視覚障害者用誘導ブロックの設置） ・その他路線：視覚障害者用誘導ブロックの設置（魚屋町栗林線等）	実施中 (未完了)

■都市福利施設の整備（第5章）

事業名	事業内容	状況
地域子育て支援拠点事業	・子育て親子が気軽に集い、語り合い、相互交流を図る場を開設し、子育ての不安や疑問に対する相談・援助や身近な地域の子育て支援情報を提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習を実施	実施中
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育室6か所で病気などにより集団で保育することが困難な児童を看護師や保育士が保護者に代わって保育	実施中

事業名	事業内容	状況
高松市常磐町地区優良建築物等整備事業	・延床面積：10,959 ㎡ ・階数：18 階用 ・用途：医療施設、共同住宅を整備し、地域の活性化を図るもの	完了
新県立体育館整備事業 [再掲]	・メインアリーナ、サブアリーナ、武道施設兼多目的ルーム、その他諸室等 ・延床面積：30,000 ㎡程度	実施中 (R6 年度 未完了)
高松丸亀町子育て支援施設整備事業	高松市大工町・磨屋町再開発事業で整備された施設における床の一部を取得し、NPO 法人による子育て支援施設の運営	完了

■街なか居住の推進（第 6 章）

事業名	事業内容	状況
移住・定住促進事業	本市への移住を進めるパンフレット等を用いたPR活動や空き家バンク制度を活用した居住の確保を行うこと等により移住促進を図るもの	実施中
高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業[再掲]	第一種市街地再開発事業 延床面積：18,585 ㎡（7,027 ㎡、11,558 ㎡） 階数：11 階、8 階、3 階 用途：住宅、医療、公益、商業、駐車場	完了
高松市常磐町地区優良建築物等整備事業[再掲]	・延床面積：10,959 ㎡ ・階数：18 階用 ・用途：医療施設、共同住宅を整備し、地域の活性化を図るもの	完了
フラット 35 活用事業	コンパクトシティ形成のための居住誘導施策として住宅金融支援機構と協定を結び、財政支援を行うもの	実施中

■経済活力の向上（第 7 章）

事業名	事業内容	状況
大工町ものづくり育成店舗整備事業	高松市大工町・磨屋町再開発事業で整備された施設における床の一部を取得し、香川県のものづくりを担うデザイナーやクリエイターが集う施設として整備することで、商店街への来街意欲を促進	完了
第一種大規模小売店舗立地法特例区域の設定	大店立地法の手続きに関する簡素化の措置	実施中
大工町立体駐車場整備事業	高松市大工町・磨屋町再開発事業で整備された施設における床の一部を取得し、隣接商店街のための利用客用駐車場として運営	完了

事業名	事業内容	状況
中心市街地商店街活性化支援事業	商店街振興組合等が行う魅力ある商店街づくりに向けた事業に要する経費の一部を補助	実施中
創造支援センター運営事業	創造性に富む発想や独自性のある技術を活用した新規事業者等の活動拠点としてのインキュベーター施設の運営	実施中
障がい者就労支援促進事業	商店街空き店舗にて障がい者を雇用し事業を行う企業・団体等を対象に、公募選考し、事業費の助成	実施中
高松市美術館教育普及事業	ワークショップ（美術講座）、子どものアトリエ（小中学生対象の制作講座）、「ふらっとアート」（子ども対象の造型プログラム）の実施	実施中
高松市美術館展覧会事業	特別展5展（年間180日前後）、常設展5期（年間280日前後）を開催	実施中
市民文化祭アーツフェスタたかまつ	音楽コンサート、落語、和太鼓、舞踊、作品展示、演劇などの多彩なジャンルの文化芸術公演等を開催する、市民企画提案型の文化の祭典	実施中
サンポートホール高松自主事業	コンサート等イベントの開催、NHK公開放送等の実施	実施中
新春子どもフェスティバル	各校区代表によるドッジボール大会、すもう大会、かるたとり大会ほか、親子で気軽に参加できる遊びの名人コーナー等の開催	実施中
高松まちかど漫遊帖事業	おもてなしの心で観光資源を紹介する「市民ツアープロデューサー」を核に、市民自らが飲食・見学・体験等、受け入れてくれる店舗・施設と協議を行うほか、ガイド内容、実施日、価格などを計画	実施中
まちなかパフォーマンス事業	街クラシック i n 高松など、まちなかコンサートを実施	実施中
サンポート高松トライアスロン大会開催事業	トライアスロン競技大会（スイム・バイク・ラン）の開催	実施中
高松市協働企画提案事業	高松市が課題解決のために提案するテーマ及び提案団体が課題解決に必要と考える自由なテーマについて市民活動団体等から提案募集し、採択となった事業を委託事業として実施するもの	完了
高松市美術館催し物事業	エントランス・ミニコンサート（年5回程度）、友の会ふれあいコンサート（友の会と共催、年2回程度）	実施中
高松国際ピアノコンクール	4年に1回の国際音楽コンクールを開催、開催年度以外は、コンクール推進事業として学校訪問リサイタル等を実施	実施中
ユニバーサルデザインマップ作成・運用事業	ユニバーサルデザインマップを作成	実施中

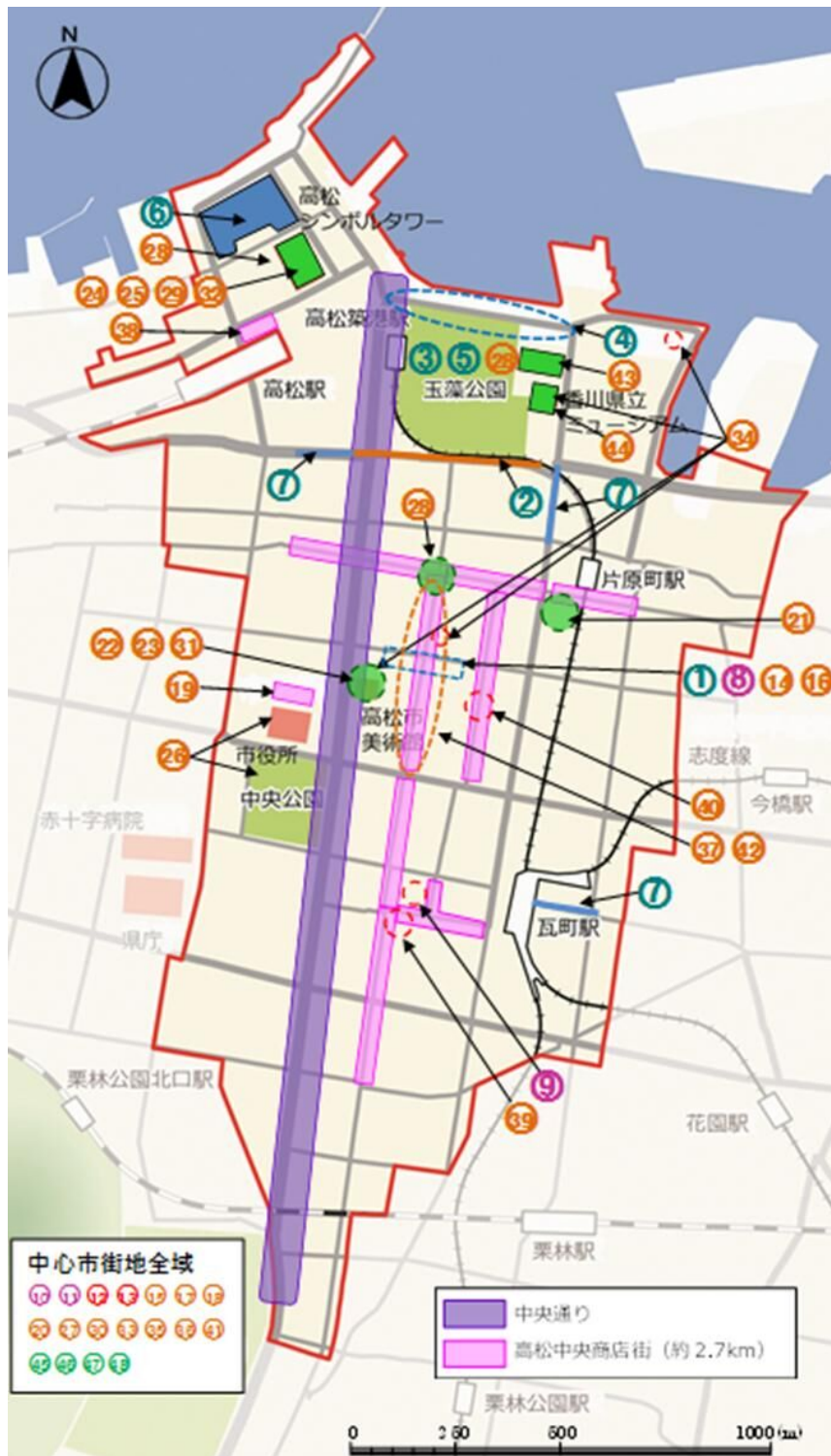
事業名	事業内容	状況
たかまつ工芸ウィーク	伝統的ものづくりに関するワークショップや展示販売、ツアー等の開催	完了
高松南部3町商店街活性化拠点運営支援事業	高松南部3町商店街エリア（南新町・常磐町・田町）において、まちづくり会社等に対して、高松南部3丁目商店街エリアを始めとした地域の活性化及び情報発信等の事業に必要な経費の一部を補助するもの	完了
ART SETOUCHI（瀬戸内国際芸術祭）	3年に1回の現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」のほか、芸術祭開催年以外でイベント等により瀬戸内海の魅力発信・誘客の活動を実施	実施中
高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業[再掲]	第一種市街地再開発事業 延床面積：18,585㎡（7,027㎡、11,558㎡） 階数：11階、8階、3階 用途：住宅、医療、公益、商業、駐車場	完了
高松丸亀町商店街情報発信事業	商店街や周辺観光などの情報提供	実施中
高松駅周辺開発事業	商業施設の整備を行うもの	完了
南部3町商店街活性化マチカドプラザ事業	商店街や組合の情報提供、学生、若年層の情報共有の場	実施中
まちの駅「smile's」運営事業	高松ライオン通商店街に商店街に関わる人達の交流の場、インバウンド向けの情報発信拠点の運営	実施中
商店街共同施設整備事業	商店街振興組合等が実施するアーケード・カラー舗装・立体駐車場等、一般公衆の利便を図るための共同施設の整備・修繕等にかかる経費の一部を補助するもの	実施中
丸亀町商店街イベント事業	高松丸亀町商店街の年間を通じたイベントの開催	実施中
香川県県民ホール文化事業	香川県県民ホールでの文化芸術事業（自主事業・共催事業）の開催	実施中
香川県立ミュージアム文化事業	・展示企画（特別展・常設展示（歴史・美術他））の開催 ・教育普及（講演会・歴史講座・美術講座・ワークショップ他） ・調査・研究（資料調査・調査研究他）、資料の収集・保管 ・美術工芸振興事業 ・香川県文化会館における貸館事業	実施中
高松市中央商店街空き店舗活用事業	中央商店街の区域に所在する空き店舗に新たに出店する事業者に対し、改装費の一部を補助	実施中

事業名	事業内容	状況
高松市生涯学習センター運営事業	大学等との連携による各種専門講座や、市民と行政との協働によるまちづくりに基づく公募型自主企画講座等を開催し、市民の学習機会の提供とリカレント（循環）教育を推進するもの	実施中
高松丸亀町子育て支援施設整備事業[再掲]	高松市大工町・磨屋町再開発事業で整備された施設における床の一部を取得し、NPO法人による子育て支援施設の運営	完了
高松市創業支援等事業	高松商工会議所や金融機関等の地域の創業支援事業者と連携して創業者や創業希望者等を支援するもの	実施中

■公共交通機関の利便性の増進、特定事業及び措置の推進（第8章）

事業名	事業内容	状況
レンタサイクル事業	中心市街地の7か所に設置しているレンタサイクルポートで市民等に自転車を貸し出し、まちなかの回遊の手段として利用に供するもの	実施中
まちなかループバス運行事業	サンポート高松や高松中心市街地など中心市街地を循環するバス運行を実施し、中心市街地内を訪れる人々の交通手段を提供	実施中
自転車等駐車場施設管理運営事業	商店街内に無料の自転車等駐車場を設置し、買い物客の利用に供するもの	実施中
有料自転車等駐車場管理事業	瓦町地下、高松駅前広場地下、栗林公園駅前の3か所に有料の自転車等駐車場を設置し、市民の利用に供するもの	実施中

◇ 4 から 8 までに掲げる事業及び措置の実施箇所



市街地の整備改善	
1	高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業
2	高松海岸線街路事業
3	玉藻公園整備事業
4	高松港湾環境整備事業（玉藻地区）
5	高松城跡整備事業
6	新県立体育館整備事業
7	バリアフリー歩行空間ネットワーク整備事業
都市福祉施設の整備	
6	新県立体育館整備事業【再掲】
8	高松丸亀町子育て支援施設整備事業
9	高松市常磐町地区優良建築物等整備事業
10	地域子育て支援拠点事業
11	病児・病後児保育事業
街なか居住の推進	
1	高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業【再掲】
9	高松市常磐町地区優良建築物等整備事業【再掲】
12	移住・定住促進事業
13	フラット35活用事業
経済活力の向上	
1	高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業【再掲】
8	高松丸亀町子育て支援施設整備事業【再掲】
14	大工町ものづくり育成店舗整備事業
15	第一種大規模小売店舗立地法特例区域の設定
16	大工町立駐車場整備事業
17	高松市中央商店街空き店舗活用事業
18	中心市街地商店街活性化支援事業
19	創造支援センター運営事業
20	障がい者就労支援促進事業
21	高松市生涯学習センター運営事業
22	高松市美術館教育普及事業
23	高松市美術館展覧会事業
24	市民文化祭アーツフェスタたかまつ
25	サンポートホール高松自主事業
26	新春子どもフェスティバル
27	高松まちなか漫遊館事業
28	まちなかパフォーマンス事業
29	サンポート高松トライアスロン大会開催事業
30	高松市協働企画提案事業
31	高松市美術館催し物事業
32	高松国際ピアノコンクール
33	ユニバーサルデザインマップ作成・運用事業
34	たかまつ工芸ウィーク
35	ART SETOUCHI（瀬戸内国際芸術祭）
36	高松市創業支援等事業
37	高松丸亀町商店街情報発信事業
38	高松駅周辺開発事業
39	南部3町商店街活性化拠点施設マチカトラザ事業
40	まちなかの「smile's」運営事業
41	商店街共同施設整備事業
42	丸亀町商店街イベント事業
43	香川県民ホール文化事業
44	香川県立ミュージアム文化事業
公共交通機関の利便性の増進及び特定事業の推進	
45	レンタサイクル事業
46	まちなかループバス運行事業
47	自転車等駐車場施設管理運営事業
48	有料自転車等駐車場管理事業

(3) 第3期計画の検証

1) 事業の進捗状況（令和5年度末）

全49事業における実施状況の内訳については、完了済みが9事業、実施中が34事業、6事業が実施中（未完了）となっています。

	事業数	完了	実施中	実施中 (未完了)
市街地の整備改善	7	1	0	6
都市福利施設の整備	4 (5)	2	2 (3)	0
街なか居住の推進	2 (4)	0 (2)	2	0
経済活力の向上	32 (34)	6 (8)	26	0
公共交通機関の利便性の増進、特定事業及び措置の推進	4	0	4	0
合計	49 (54)	9 (13)	34 (35)	6

※()は再掲を含む事業数

■未完了の事業等に関する要因分析

未完了の事業に関して、「新県立体育館整備事業」については、第3期計画期間中である令和6年度末に完了予定となっています。「玉藻公園整備事業」「高松港港湾環境整備事業（玉藻地区）」「高松城跡整備事業」「高松海岸線街路事業」「バリアフリー歩行空間ネットワーク整備事業」は、いずれも段階的に整備を行う事業であることから、第3期計画期間終了後も継続的に実施することとしています。

2) 目標指標の達成状況

目標達成状況を把握するため、5つの指標で目標値を設定していましたが、「歩行者等通行量」については目標達成が見込まれているものの、「中心市街地内の主要観光施設年間入込客数」「新規出店数」「中心市街地の社会動態」「ことடன்3駅の乗降客」は全て未達成であり、計画期間中の目標達成は見込まれない状況となりました。

目標	目標指標	基準値	目標値	実績値	達成状況
サンポートエリアにおける高次（広域）都市サービス機能の充実による誘客力の向上	中心市街地内の主要観光施設年間入込客数	2,744 千人 (H30)	2,890 千人 (R6)	2,022 千人 (R5)	c
中心市街地の魅力発信による回遊性の向上	歩行者等通行量	92,639 人 (H29)	97,721 人 (R6)	122,935 人 (R5)	A
	新規出店数	216 店舗 (H26～H30 累計)	271 店舗 (R1.7～ R7.3)	186 店舗 (R1.7～ R5.12)	C
拠点間交流と住環境の整備による地域価値の向上	中心市街地の社会動態	886 人 (H26～H30 累計)	1,373 人 (R1.7～ R7.3)	848 人 (R1.7.1～ R6.4.1)	C
	【参考】ことடன்3駅の乗降客	31,751 人 (H29)	32,057 人 (R6)	30,401 人 (R5)	c

※達成状況欄

A（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を越えることができた。）

a（計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績では目標値を越えることができた。）

B（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値を超えることができたが、目標値に及ばず。）

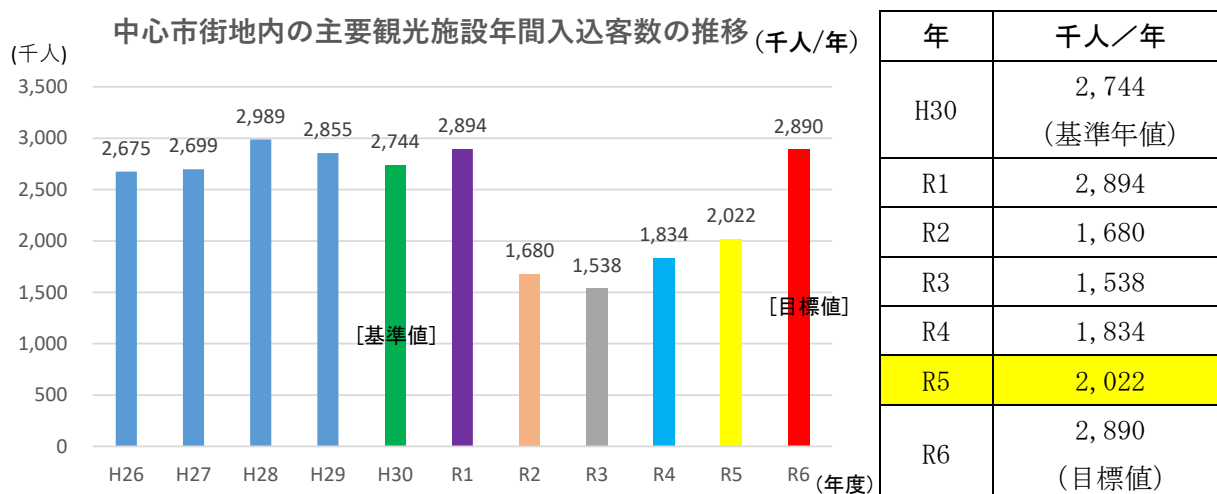
b（計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えることができたが、目標値には及ばず。）

C（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値及び基準値にも及ばなかった。）

c（計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値及び基準値にも及ばなかった。）

目標 1 「サンポートエリアにおける高次（広域）都市サービス機能の充実による誘客力の向上」

■ 中心市街地内の主要観光施設年間入込客数



*高松市美術館は H27 年 1 月 14 日～H28 年 3 月 25 日の間、改修工事のため長期休館

※調査方法：各施設への聞き取り

※調査月：各年 1 月～12 月の施設利用者数

※調査主体：高松市

※調査対象：主要観光施設 4 か所（高松シンボルタワー、玉藻公園、高松市美術館、香川県立ミュージアム）で計測

■ 目標達成の状況【c】

高松シンボルタワー、玉藻公園、高松市美術館、香川県立ミュージアムの 4 施設の合計値となる、主要観光施設年間入込客数の令和 5 年度の結果は、サンポートエリアにある高松シンボルタワーの入場者数は、前年比 109%となりました。また玉藻公園の入場者数は、コロナ前と同様まで回復し前年比 128%と上昇したものの、4 施設を含めた全体として目標達成は厳しい状況にあります。

■ 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（R5 年度末・数値の状況）

事業名	事業実施状況	目標値	最新値
新県立体育館整備事業	実施中 (R6 年度末完了)	32,647 人	—
高松駅周辺開発事業	完了	54,250 人	—
ART SETOUC HI (瀬戸内国際芸術祭)	実施中	4,396 人	△15,631 人 (基準値より減少)

■目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（R5 年度末・事業効果）

事業名	実施状況	事業効果
新県立体育館整備事業	競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設としての機能に加え、コンサートやMICEなど、多くの集客交流が見込まれるイベントが開催できる交流推進施設としての機能を備えた体育館を整備するものです。建設工事が概ね当初の計画どおり進捗しています。	—
高松駅周辺開発事業	交通結節点である高松駅周辺において集客機能のあるにぎわい施設を整備し、利便機能の拡充を図ることで香川県内外からの広域的な誘客を図るものです。令和6年3月22日に新高松駅ビル「TAKAMATSU ORNE（タカマツオルネ）」が開業しました。	令和6年度以降、香川県内外からの広域的な誘客が期待できます。
ART SETOUCHI（瀬戸内国際芸術祭）	3年に1回の現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」のほか、芸術祭開催年以外でイベント等により瀬戸内海の魅力発信・誘客の活動を実施するものです。高松港周辺で屋外作品の公開を継続しています。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、目標値は達成していませんが、高松港周辺のにぎわい創出に寄与しています。

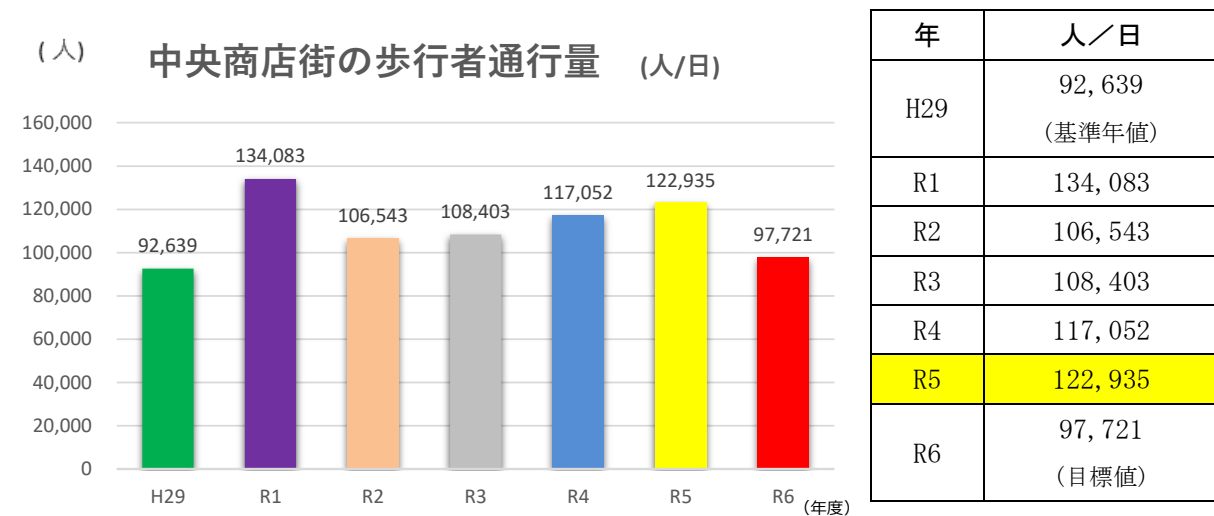
■今後について

「中心市街地内の主要観光施設の年間入込客数」については、高松空港に就航している国内線の復便や運休していた国際線の運航再開の影響もあり、入込客数は増加しています。

今後はインバウンド来街者が大幅増加していくと予測されており、更には令和7年3月に県立アリーナの開館、4月に大学が移転されるため、入込客数の増加が見込まれます。

目標 2 「中心市街地の魅力発信による回遊性の向上」

■中央商店街の歩行者等通行量



※調査方法：中央商店街の 15 地点で自動計測（カメラ画像解析）を実施

※調査月：各年度 4 月 1 日～3 月 31 日

※調査主体：高松市・高松中央商店街振興組合連合会

※調査対象：毎日（10 時から 19 時まで）の中央商店街 15 地点の歩行者（自転車を含む。）

■目標達成の状況【A】

歩行者等通行量は、令和元年 10 月から、カメラによる計測を行っており、常時計測が可能となりました。令和 2 年度からの新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通行量は減少していましたが、イベント等のソフト施策が定着してきたことや、再開発事業の完成などにより、目標値を達成しました。

■目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（R5 年度末・数値の状況）

事業名	事業実施状況	目標値	最新値
新県立体育館整備事業	実施中 (R6 年度末 完了予定)	514 人	—
高松丸亀町子育て 支援施設整備事業	完了	14 人	△7 人 (基準値より減少)
大工町立体駐車場整備 事業	完了	455 人	313 人
大工町ものづくり 育成店舗整備事業	完了	302 人	153 人
高松市創業支援事業	実施中	222 人	332 人
南部 3 町商店街活性化 マチカドプラザ事業	実施中	778 人	8,554 人

事業名	事業実施状況	目標値	最新値
高松市中央商店街空き店舗活用事業	実施中	1,166 人	5,832 人
高松丸亀町商店街情報発信事業	実施中	1,166 人	5,832 人
高松駅周辺開発事業	完了	178 人	—
ART SETOUCHI（瀬戸内国際芸術祭）	実施中	14 人	△51 人 （基準値より減少）

■目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（R5 年度末・事業効果）

事業名	実施状況	事業効果
新県立体育館整備事業	競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設としての機能に加え、コンサートやMICEなど、多くの集客交流が見込まれるイベントが開催できる交流推進施設としての機能を備えた体育館を整備するものです。建設工事が概ね当初の計画どおり進捗しています。	—
高松丸亀町子育て支援施設整備事業	再開発施設内に子育て支援施設を整備し、NPO法人による運営を行うことで子育て世代の女性が子どもを産みやすく、働きやすい環境を整備するものです。令和4年2月1日に入居済みです。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、目標値は達成していませんが、令和4年4月25日開業の「讃岐おもちゃ美術館」と連携し、相乗効果が期待できます。
大工町立体駐車場整備事業	高松市大工町・磨屋町再開発事業で整備された施設における床の一部を取得し、隣接商店街のための利用客用駐車場として運営するものです。駐車場部分については仮使用検査を経て、令和3年12月22日に開業し、建物全体としては令和4年1月31日に竣工しました。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きいものの、目標値を達成しています。前年まで少なかった夜18時以降の利用が令和5年12月には増加し、金曜日、土曜日については夜9時頃まで満車が見られるようになっています。料金体系の改正など混雑緩和のための措置を検討する必要があります。

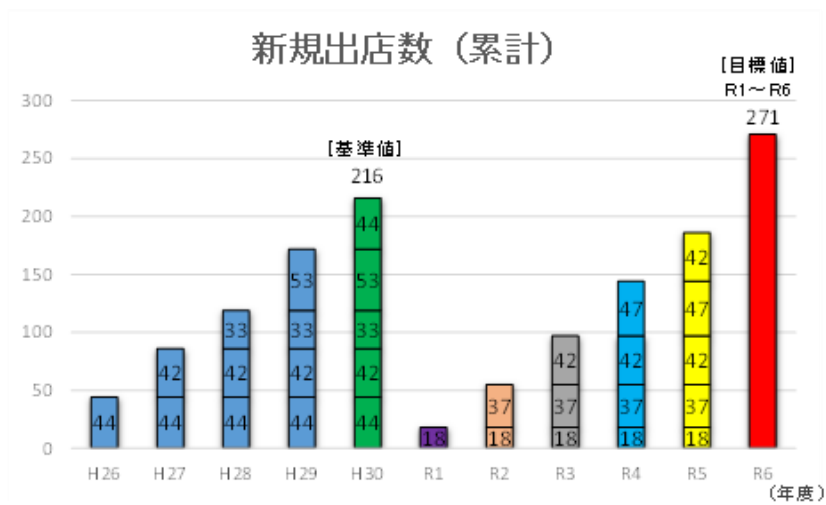
事業名	実施状況	事業効果
大工町ものづくり育成店舗整備事業	再開発施設内に香川県のものづくりを担うデザイナーやクリエイターが集う施設を整備し、県外や海外から訪れる観光客に、香川のものづくりの体験や伝統産業の逸品などを提供することで、新たな魅力を創出し、商店街への来街意欲を促進させるものです。令和5年4月に開業1周年を迎えました。令和6年度より高松市のふるさと納税で讃岐おもちゃ美術館チケットが返礼品で選べるようになっていきます。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、目標値の達成には至りませんでしたが、小学校の遠足など、団体客の受け入れにより、利用拡大を図ることで、歩行者等通行量の増加にも寄与します。
高松市創業支援事業	高松商工会議所や金融機関等の地域の創業支援事業者と連携して創業者や創業希望者を支援するものです。令和2年2月に創業支援事業者と共同で開設した相談窓口である「たかまつ創業サポートセンター」を中心に、連携して創業者や創業希望者等を支援しています。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きいものの、目標値を達成しています。地域の創業支援事業者と連携して、創業者や創業希望者等への支援を行い、創業相談件数の増加を図ることで、歩行者等通行量の増加にも寄与します。
南部3町商店街活性化マチカドプラザ事業	南部3町商店街の活性化に向けて、商店街の情報発信、各種情報発信ツールによる各店舗情報の提供などを行い、情報発信力の強化を図るとともに、4町パティオの有効活用を検討するなど、利用促進と回遊性を高めるものです。シーズンごとにキャンペーンをまとめてプロモーション企画を実施することで、注目度も上がり、地元プロスポーツチームや企業とのタイアップも広がり、商店街単体だけではできない情報発信ができています。コロナを巡る状況が落ち着いたことから、若手店主や外部との交流会なども再開できるようになりました。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きいものの、目標値を達成しています。商店街の企画・プロモーションを柱としつつ、長期的な活性化を視野に、新たな事業への取組も含め、次の活性化プランづくりにも着手していくことで、歩行者等通行量の増加にも寄与します。

事業名	実施状況	事業効果
高松市中央商店街空き店舗活用事業	中央商店街の区域に所在する空き店舗に新たに出店する事業者に対し、改装費の一部を補助するものです。改装費の一部助成を継続して実施し、当該空き店舗の利用促進を図るとともに、高松中央商店街のにぎわいを創出しました。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きいものの、目標値を達成しています。高松中央商店街の空き店舗を対象とする新規出店補助制度を周知啓発し、空き店舗の解消が進展するよう継続して事業を実施することで、歩行者等通行量の増加にも寄与します。
高松丸亀町商店街情報発信事業	外国人観光客などの来訪者に対して商店街の店舗情報やイベント情報などローカルな情報に加え、中央商店街全体の情報や広域的な観光情報等を提供し、利用促進と回遊性の向上を図るものです。令和元年に開業したインフォメーションセンターは新型コロナウイルスによる観光客減少もあり閉鎖しました。商店街webサイトでの情報発信に移行しています。令和5年度から、コロナ禍を理由に休止していた商店街主催イベント（丸亀町祭り、ハロウィンパーティなど）を再開しており、これらの情報を発信しています。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きいものの、目標値を達成しています。再開された商店街イベントなどの必要な情報発信をwebサイトや商店街内のデジタルサイネージを使って発信し、歩行者等通行量の増加に寄与します。
高松駅周辺開発事業	交通結節点である高松駅周辺において集客機能のあるにぎわい施設を整備し、利便機能の拡充を図ることで香川県内外からの広域的な誘客を図るものです。令和6年3月22日に新高松駅ビル「TAKAMATSU ORNE（タカマツオルネ）」が開業しました。	令和6年度以降、香川県内外からの広域的な誘客が期待できます。
ART SETOUCHI（瀬戸内国際芸術祭）	3年に1回の現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」のほか、芸術祭開催年以外でイベント等により瀬戸内海の魅力発信・誘客の活動を実施するものです。高松港周辺で屋外作品の公開を継続しています。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、目標値は達成していませんが、高松港周辺のにぎわい創出に寄与しています。

■今後について

「中央商店街における歩行者等通行量」は、目標値設定後の令和元年度以降、目標を達成しています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により通行量は減少していましたが、令和2年度以降は微増傾向にあります。今後、区域内のマンション完成による居住者や出張・旅行者などの来街者の通行が見込まれるほか、後述する市街地再開発事業の完了、更には、高松空港国際線の全線再開によるインバウンドが大幅に増加することが予測されています。これらの経済活動の活発化による集客の拡大が期待できることから、イベントの実施等も併せて行うことにより、通行量の更なる増加につなげていきます。

■新規出店数



年	店舗数(累計)
H30	216 (H26.4～H31.3) (基準年値)
R1	18 (充足率 7%)
R2	55 (充足率 20%)
R3	97 (充足率 36%)
R4	144 (充足率 53%)
R5	186 (充足率 69%)
R6	271 (R1.7～R7.3) (目標値)

※調査方法：年2回、中央商店街店舗立地動向調査を実施

※調査月：6月、12月（取りまとめは、7月及び1月）

※調査主体：高松市・高松商工会議所

※調査対象：高松中央商店街を構成する8商店街振興組合

■目標達成の状況【c】

アフターコロナによって、出控え傾向であった人流が回復し、夜の飲食店利用や国際線の定期運航再開による訪日客の再訪など、個人消費は持ち直しの傾向にあります。令和5年度の新規出店数は、42店舗と回復傾向となり、これまで状況からは改善されており目標達成に近づいてきていますが、近年の原材料の高騰や物価上昇の影響は依然として残ることが予想されるため、目標達成は厳しい状況にあります。

■目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（R5年度末・数値の状況）

事業名	事業実施状況	目標値	最新値
南部3町商店街活性化 マチカドプラザ事業	実施中	6店舗	—
高松市中央商店街空き 店舗活用事業	実施中	9店舗	11店舗
高松丸亀町商店街情報 発信事業	実施中	9店舗	11店舗
大工町ものづくり育成 店舗整備事業	完了	6店舗	—
高松市創業支援事業	実施中	2店舗	3店舗

■目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（R5 年度末・事業効果）

事業名	実施状況	事業効果
南部 3 町商店街 活性化マチカド プラザ事業	南部 3 町商店街の活性化に向けて、商店街の情報発信、各種情報発信ツールによる各店舗情報の提供などを行い、情報発信力の強化を図るとともに、4 町パティオの有効活用を検討するなど、利用促進と回遊性を高めるものです。シーズンごとにキャンペーンをまとめてプロモーション企画を実施することで、注目度も上がり、地元プロスポーツチームや企業とのタイアップも広がり、商店街単体だけではできない情報発信ができています。コロナを巡る状況が落ち着いたことから、若手店主や外部との交流会なども再開できるようになりました。	商店街の企画・プロモーションを柱としつつ、長期的な活性化を視野に、新たな事業への取組も含め、次の活性化プランづくりにも着手していくことで、新規出店数の増加にも寄与します。
高松市中央商店街 空き店舗活用 事業	中央商店街の区域に所在する空き店舗に新たに出店する事業者に対し、改装費の一部を補助するものです。改装費の一部助成を継続して実施し、当該空き店舗の利用促進を図るとともに、高松中央商店街のにぎわいを創出しました。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きいものの、目標値を達成しています。高松中央商店街の空き店舗を対象とする新規出店補助制度を周知啓発し、空き店舗の解消が進展するよう継続して事業を実施することで、新規出店数の増加にも寄与します。

事業名	実施状況	事業効果
高松丸亀町商店街情報発信事業	外国人観光客などの来訪者に対して商店街の店舗情報やイベント情報などローカルな情報に加え、中央商店街全体の情報や広域的な観光情報等を提供し、利用促進と回遊性の向上を図るものです。令和元年に開業したインフォメーションセンターは新型コロナウイルスによる観光客減少もあり閉鎖しました。商店街w e bサイトでの情報発信に移行しています。令和5年度から、コロナ禍を理由に休止していた商店街主催イベント（丸亀町祭り、ハロウィンパーティなど）を再開しており、これらの情報を発信しています。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きいものの、目標値を達成しています。再開された商店街イベントなどの必要な情報発信をw e bサイトや商店街内のデジタルサイネージを使って発信し、新規出店数の増加にも寄与します。
大工町ものづくり育成店舗整備事業	再開発施設内に香川県のものづくりを担うデザイナーやクリエイターが集う施設を整備し、県外や海外から訪れる観光客に、香川のものづくりの体験や伝統産業の逸品などを提供することで、新たな魅力を創出し、商店街への来街意欲を促進させるものです。令和5年4月に開業1周年を迎えた。今年度より高松市のふるさと納税で讃岐おもちゃ美術館チケットが返礼品で選べるようになっていきます。	小学校の遠足など、団体客の受け入れにより、利用拡大を図ることで、新規出店数の増加にも寄与します。
高松市創業支援事業	高松商工会議所や金融機関等の地域の創業支援事業者と連携して創業者や創業希望者を支援するものです。令和2年2月に創業支援事業者と共同で開設した相談窓口である「たかまつ創業サポートセンター」を中心に、連携して創業者や創業希望者等を支援しています。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きいものの、目標値を達成しています。地域の創業支援事業者と連携して、創業者や創業希望者等への支援を行い、創業相談件数の増加を図ることで、新規出店数の増加にも寄与します。

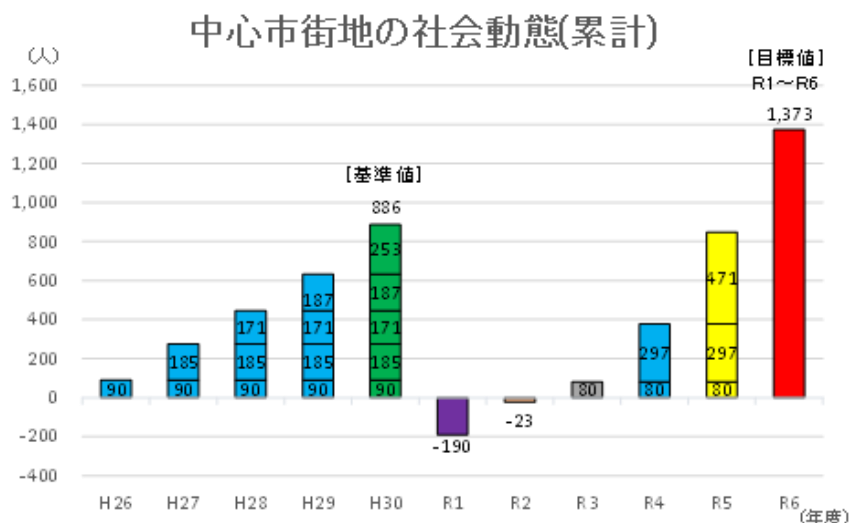
■今後について

「新規出店数」については、アフターコロナによって、出控え傾向であった人流が回復し、夜の飲食店利用や国際線の定期運航再開による訪日客の再訪など、個人消費は持ち直しの傾向にある。令和5年度の新規出店数は、42店舗となり、これまでの状況からは改善されており目標達成に近づいてきています。区域内のマンション完成による居住者が増加していることから、幅広い業種が出店する機会が増えることで、今後の新規出店が期待できます。

近年の原材料の高騰や物価上昇の影響は依然として残ることが予想されるものの、今後も官民が連携し、安定した店舗の経営が継続できるよう、各種施策の実施に努めていきます。

目標3「拠点間交流と住環境の整備による地域価値の向上」

■ 中心市街地の社会動態



年	人（累計）
H30	886 (H26.4～H31.3) (基準値)
R1	△190 (充足率-14%)
R2	△23 (充足率-2%)
R3	80 (充足率6%)
R4	377 (充足率27%)
R5	848 (充足率62%)
R6	1,373 (R1.7～R7.3) (目標値)

※調査方法：中心市街地内における住民基本台帳登録人口

※調査月：4月1日時点調査、同月取りまとめ

R1年度は7月1日～R2年4月1日

※調査主体：高松市

※調査対象：中心市街地内の居住者

■ 目標達成の状況【c】

中心市街地の社会動態については、市全体の人口が減少傾向にある中でも、増加傾向となっています。地価水準が高い中でも、分譲マンションの建設が続いており、令和5年度の中心市街地の社会動態は471人となり、前年の297人から174人増加し、令和元年からの合算値では848人となりました。令和6年度にも2棟、112戸の分譲マンションが竣工予定であることから、今後も増加傾向は続く見込まれるものの、目標達成の見通しは厳しい状況にあります。

■ 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（R5年度末・数値の状況）

事業名	事業実施状況	目標値	最新値
高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業	完了	83人	—
高松市常磐町地区優良建築物等整備事業	完了	167人	—
フラット35活用事業	実施中	104人	11人

■目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（R5 年度末・事業効果）

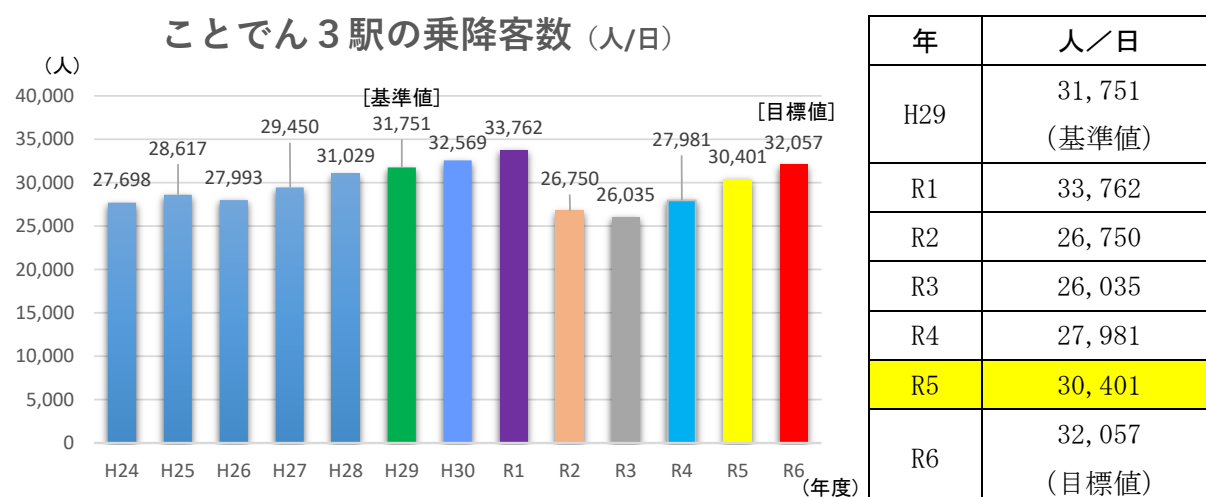
事業名	実施状況	事業効果
高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業	中央商店街の一つである丸亀町商店街C街区の東西にある大工町・磨屋町地区で都市型住宅、商業施設、立体駐車場を備えた再開発施設を整備するものです。再開発組合が、引き続き磨屋町街区の施設建築物新築工事を進め、令和5年2月に完了しました。	多世代が居住する共同住宅の整備によるまちなか居住の推進、「讃岐おもちゃ美術館」によるにぎわいの創出、「丸亀町くるりん駐車場」によるアクセス性の向上など、中心市街地の活性化が期待できます。
高松市常磐町地区優良建築物等整備事業	中央商店街の一つである常磐町商店街のジャスコ跡地において、医療施設、子育て支援施設、共同住宅を整備するものです。事業者が、磨屋町街区の施設建築物新築工事を進め、令和5年9月に完了しました。	共同住宅の完成により、多世代が居住する街なか居住の推進はもとより、通行者の増加や消費の喚起につながるなど、中心市街地の活性化が期待できます。
フラット 35 活用事業	高松市立地適正化計画で定める中心市街地区域を包含する居住誘導区域の外から、区域内へ住み替えた世帯に、住宅の建築・購入等費用の一部助成及び住宅金融支援機構と提携し、住宅ローンフラット 35 Sの金利の低減（当初5年間△0.25%等）を行うものです。令和5年度の実績は5件（うち中心市街地は1件3人（令和4年度の実績3件8名の人口増のみ））となりました。	目標値の達成には至りませんでした。が、住宅フェアの開催など、継続的な周知啓発を行い、より多くの方に制度を利用してもらえるよう努めていきます。

■今後について

「中心市街地の社会動態」については、目標値から62%と大きく乖離していますが、市全体の人口が減少傾向にある中でも、増加傾向となっています。地価水準が高い中でも、分譲マンションの建設が続いており、令和6年度にも2棟、112戸の分譲マンションが竣工予定であることから、今後も増加傾向は続くと思込まれます。

現在、実施しているフラット 35 活用事業の周知啓発や、空き家等の既存ストックの流通を促進する住宅施策を展開するなど、中心市街地で居住選択されるよう効果的な事業の検討・実施に努め、人口増につなげていきます。

■（参考指標）ことでん3駅の乗降客数



※調査方法：高松琴平電気鉄道株式会社へ聞き取り

※調査月：毎年1月1日～12月31日

(H24～H30は毎年4月1日～翌年3月31日で集計)

※調査主体：高松琴平電気鉄道株式会社

※調査対象：ことでん3駅（高松築港、片原町、瓦町）の乗降客数

■目標達成の状況【c】

令和5年のことでん主要3駅の乗降客数は、アフターコロナによる観光客の増加等、人流の回復によって、定期利用を除く乗客数が前年比118%と増加したものの、通勤通学の定期利用は前年比103%とほぼ横ばい傾向となり、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年比90%と目標値を下回りました。

■目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（R5年度末・数値の状況）

事業名	事業実施状況	目標値	最新値
高松丸亀町子育て支援施設整備事業	完了	2人/日	△1人/日 (基準値より減少)
新県立体育館整備事業	実施中 (R6年度末完了)	181人/日	—

■目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（R5 年度末・事業効果）

事業名	実施状況	事業効果
高松丸亀町子育て支援施設整備事業	再開発施設内に子育て支援施設を整備し、NPO法人による運営を行うことで子育て世代の女性が子どもを産みやすく、働きやすい環境を整備するものです。令和4年2月1日に入居済みです。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、目標値は達成していませんが、令和4年4月25日開業の「讃岐おもちゃ美術館」と連携し、相乗効果が期待できます。
新県立体育館整備事業	競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設としての機能に加え、コンサートやMICEなど、多くの集客交流が見込まれるイベントが開催できる交流推進施設としての機能を備えた体育館を整備するものです。建設工事が概ね当初の計画どおり進捗しています。	—

■今後について

「ことでん3駅の乗降客数」については、新型コロナウイルス感染症拡大状況によって影響を受けやすく、利用客数が減少していたが、アフターコロナになり人流は回復傾向となっています。しかし、依然として目標達成は厳しい状況となっています。

今後は、目標達成に向けた計画掲載事業の推進や、環境配慮の面からも公共交通機関の利用を促すなど、目標値に近付けていきます。

3) 第3期計画の総括

高松市では、中心市街地活性化に関する法律に基づき、平成19年に第1期計画、平成25年に第2期計画、令和元年6月に第3期計画（令和元年7月～令和7年3月）を策定し、各種事業を推進中です。

第3期計画では、「来まい・住まい・楽しみまいーコンパクト・エコシティ たかまつー」をコンセプトに、中心市街地の活性化に取り組んできました。

第3期計画に掲載された全49事業の進捗状況は、9事業が完了しており、34事業が継続実施中、6事業が未完了（R5年度末）となっています。

目標指標の達成状況は、「歩行者等通行量」については目標達成が見込まれているものの、「中心市街地内の主要観光施設年間入込客数」「新規出店数」「中心市街地の社会動態」「ことடன்3駅の乗降客」は全て未達成であり、計画期間中の目標達成は見込まれない状況となっています。

これらは、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたものの、各指標において回復傾向がみられます。

特に、イベント等のソフト施策が定着してきたことや、再開発事業の完成などにより、「歩行者等通行量」は目標を達成できています。

また、市全体では本格的な人口減少局面にシフトしていますが、中心市街地においては、分譲マンションの建設が続いており、「中心市街地の社会動態」においては、ポジティブな傾向が出ています。

さらに、サンポート高松エリアにおいて、新県立体育館整備事業や駅ビル建設等の完成が控えており、更なるポジティブな社会動態及び入込客数の変化が期待できます。

着目すべきポイントとしては、新型コロナウイルス感染症による外出抑制等の影響により市民の価値観が大きく変化し、デジタルの急速な進展とともに、行動変容やアフターコロナにおける効果的な取組が求められていることが挙げられます。

また、ハード事業の効果が各指標に影響するまでに時間を要するものがあるなど、事業を適切に評価できる仕組みになっていなかったことや集客イベントを通じたコミュニティの活性化などの取組が展開できず、ハード事業とソフト事業を組み合わせることで効果を生み出す仕掛けが乏しかったことが挙げられます。

(4) 計画の定性的評価

1) 中心市街地活性化に対する住民意向について

令和5年度に実施した市民アンケート調査結果によると、中心市街地に訪れない理由として、「駐車料金が高い」「駐車場がない・狭い」「1箇所ですべての用事が済まない」などが挙げられています。

また、中心市街地を訪れる機会を増やすために必要なものとして、「クーポンなど得する情報発信」「商店街や店舗のホームページの充実」「お祭りやイベント等の開催」などが挙げられています。

さらに、中心市街地や中央商店街に期待することとして、「訪れて楽しめる場」「身近な買物の場」「イベントや行事など地域のにぎわいづくりの中心」「子育てや高齢者の生活をサポートする場」などが求められています。

2) 中心市街地活性化協議会の意見

第3期基本計画の認定から4年9か月が経過する令和5年度末までの進捗状況として、全49事業のうち基幹事業である新県立体育館整備事業や高松駅周辺開発事業の着手など事業の進捗が見られるものの、34事業が継続実施中、6事業が未完了となっており、引き続き、事業の着実な進捗を図っていただきたいです。

目標指標の達成状況からみると、中心市街地内の主要観光施設年間入込客数については、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大幅に減少していましたが、令和5年度は高松空港に就航している国内線の復便や、運休していた国際線の運航再開の影響もあり、入込客数は増加しています。今後は令和7年2月に県立アリーナの開館、4月に大学の移転もあり、さらなる入込客数の増加が期待されます。

また、高松中央商店街の歩行者等通行量については、令和4年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大前と比べ、通行量が減少しているものの、目標値は達成しており、令和2年度以降微増傾向です。

新規出店数については、区域内のマンション完成に伴う人流の増加により増加傾向となっていますが、目標達成には相当規模の出店数が必要であり、達成は厳しい状況となっています。そのような状況ですが、目標達成に向け、新規出店予定者を後押しするよう、創業支援制度や空き店舗を活用した出店補助等の施策を進めていただきたいです。

中心市街地の社会動態並びに、ことடன்3駅の乗降客数については、目標値からの乖離が見られますが、市全体の人口が減少傾向にある中でも増加傾向であり、令和6年度にも2棟、112戸の分譲マンションが竣工予定であることから、各種施策を効果的に実施することにより、居住人口の増加を図るとともに、併せて公共交通の利用が促進されるよう、乗り継ぎサービスの向上を初めとする各種施策の推進に努めていただきたいです。

今後は、アフターコロナにおけるインバウンドの大幅な増加や経済活動の活発化が期待されていることから、官民が連携し、基本計画に位置付けられている中核事業の積極的な推進を行うことで、早期に目標指標が達成され、更なる中心市街地の活性化が図られるよう取り組んでいただきたいです。

(5) 事業の実施面からみられる中心市街地活性化の課題

「中心市街地内の主要観光施設の年間入込客数」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、令和4年度は瀬戸内国際芸術祭2022の開催、高松空港に就航している国内線の復便や、運休していた国際線の運航再開の影響もあり、入込客数は増加しています。令和5年度において、更に複数路線の国際線が運航再開したため、入込客数の増加が期待できます。

「歩行者等通行量」は、目標値設定後の令和元年度以降、目標を達成しています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者数が減少していましたが、令和2年度以降は微増傾向にあり、特にコンテンツが多数ある商店街における歩行者等通行量の増加が見られます。

「新規出店数」は、新型コロナウイルス感染症拡大以降、新規出店数は減少しましたが増加傾向にあります。個人消費の持ち直しや、商店街としてのポテンシャルの高さが要因ではないかと考えられます。しかし、目標達成には相当規模の出店数が必要であり、達成は厳しい状況となっています。

「中心市街地の社会動態」は、市全体の人口が減少傾向にある中でも、増加傾向となっています。地価水準が高い中でも、分譲マンションの建設が続いており、令和6年度にも2棟、112戸の分譲マンションが竣工予定であることから、今後も増加傾向は続く見込まれています。

[2] 中心市街地活性化の課題

これまでの検討結果を踏まえ、以下4つの課題に整理しました。

(課題1) インバウンドを含む広域圏からの誘客力を高めていく取組

- ・環瀬戸内海圏の中核都市として、多様なニーズを持った人々が訪れたいと思える高次広域都市サービス機能を提供する場を創出し、広域圏から中心市街地を訪れる機会づくりを行うことが求められています。
- ・瀬戸内国際芸術祭の開催や高松空港国際線の運航再開によって観光入込客数は回復してきているため、特にサンポートエリアの開発に併せ、回復が期待されるインバウンド・観光需要に対応していく必要があります。

(課題2) 回遊・滞在できる環境整備により利便性を高めていく取組

- ・アフターコロナにおける、サンポートエリアの集客力と中央商店街の商業ポテンシャルの相乗効果を図るため、よりリアルな体験価値を創出するイベント・観光を通じてサンポートエリアと中央商店街の回遊性を高めることが課題となっています。
- ・特に、コンテンツが多数ある商店街では、歩行者通行量・新規出店数ともに増加傾向に転じているため、回遊・滞在できる環境の整備を推進する必要があります。

(課題3) 来訪者だけでなくまちなか居住者の居心地をよくする取組

- ・中央商店街に期待することとして身近な買い物の場所が求められており、来訪者だけでなくまちなか居住者にとっても居心地をよくしていくことが課題となっています。
- ・市全体の人口が減少傾向にある中でも中心市街地の社会動態は増加傾向となっているため、快適性・安全性を向上させる施策を効果的に実施することで更なるまちなか居住の促進を図ることが必要です。

(課題4) 官民共創モデル及び情報発信を支えるデータ連携基盤の活用

- ・データ活用・連携による中心市街地活性化に関する取組の相乗効果を生み出すため、ターゲットに応じた情報発信の仕掛けづくりが求められています。
- ・中心市街地活性化の活動そのものに参画できる人材や担い手を有機的に創出するため、人的プラットフォームによる共創モデルを構築・拡大していくことが求められています。

[3] 中心市街地活性化の方針（基本的な方向性）

(1) 中心市街地活性化のコンセプト

第3期計画において増加した歩行者通行量やマンション建設の増加に伴う区域内人口の需要を最大限活かすため、区域内の利便性や幸福度の向上に資する事業を展開することにより、中心市街地の更なる魅力向上を図ることで、区域外からの需要をさらに高め、「魅力を高める⇒利便性を高める⇒居心地を良くする」といった好循環を生み出すように、官民共創によるまちづくりを展開します。

データ連携によるエリアマネジメントの実施など官民が共創できる仕掛けによって、第3期計画の「誘客力」「回遊性」「地域価値の向上」といった3つの目標を3つの羽（ブレード）に見立てて、「共創」を基盤として持続的に循環させて中心市街地全体に浸透させる取組を一体的に推進することに繋がります。

そこで、第4期計画では、アフターコロナにおける、新たな価値観に対応した活性化策として、ハード事業、ソフト事業に関わらず、各施策の投資効果を早く享受し、最大限に引き出すことを目的とした、持続的に成長する「共創型まちづくり」の仕組みを構築し、官民がセクターを超えた連携による取組を促します。

さらに、それらの取組を支える仕組みとして、データ連携基盤を活用することにより、エリアマネジメント実施のサポート及び情報発信の精度を上げていき、訪れる中心市街地だけでなく、参画する中心市街地を推進することで、これからも選ばれる中心市街地「たかまつ」を目指します。



(2) 中心市街地活性化の4つの基本方針

把握している課題に対応した基本的な方針として、「もっと魅力を高めることで、みんなが訪れたい街を実現する」「もっと利便性を高めることで、みんなが回遊・滞在できる街を実現する」「もっと居心地をよくすることで、みんなが住みたい街を実現する」「官民共創・データ連携の強化により、これからも持続的に成長する街を実現する」を設定します。

(方針1) もっと魅力を高めることで、みんなが訪れたい街を実現する

- ・サンポートエリアや中央商店街のそれぞれの価値を活かして魅力を高めます。
- ・インバウンドや観光客の増加に対応して、市民と来訪者が交流できる機会を増やし、中心市街地全体の誘客力をさらに高めます。

(方針2) もっと利便性を高めることで、みんなが回遊・滞在できる街を実現する

- ・公共交通機関と連携したウォーカブルなまちづくりによって、利便性を高めます。サンポートエリアからの誘客を促す環境整備によって、中心市街地の回遊性を向上させます。

(方針3) もっと居心地をよくすることで、みんなが住みたい街を実現する

- ・滞留できる場所、休憩施設の充実など快適性の向上を図り、居心地を良くします。
- ・生活を支援する施設の充実や防災・減災に係る取組など安全・安心な空間を創出することによって、まちなか居住を促進します。

(方針4) 官民共創・データ連携の強化により、これからも持続的に成長する街を実現する

- ・各施策の投資効果を早く享受でき、最大限に引き出すことを目的とした仕組を構築し、官民がセクターを超えた連携による取組を促します。
- ・その取組を支える仕組として、データ連携基盤を活用しデータ駆動型のまちづくりを目指します。